

## 指定管理者制度活用事業 評価シート

### 1. 基本事項

施設名称	川崎市わーくす川崎	評価対象年度	平成27年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人県福祉会 ・代表者名 佐瀬 睦夫 ・住所 神奈川県大和市柳橋5-3-1	評価者	障害計画課長
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

### 2. 事業実績

利用実績	・就労移行支援(定員6名) 月平均在籍者数 2.1名 ・就労継続支援B型(定員34名) 月平均在籍者数 38.0名																														
収支実績	収入 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>福祉事業活動</td> <td>70,238千円</td> </tr> <tr> <td>給付費</td> <td>52,398千円</td> </tr> <tr> <td>川崎市独自扶助</td> <td>6,459千円</td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料等</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>拠点区分間繰入金</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>11,381千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>70,238千円</td> </tr> </table> ※端数処理のため合計が一致しないことがあります。	福祉事業活動	70,238千円	給付費	52,398千円	川崎市独自扶助	6,459千円	指定管理委託料等	0千円	拠点区分間繰入金	0千円	その他	11,381千円	合計	70,238千円	支出 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>福祉事業活動</td> <td>68,236千円</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>44,458千円</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>8,769千円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>12,016千円</td> </tr> <tr> <td>拠点区分間繰入金</td> <td>2,993千円</td> </tr> <tr> <td>施設整備等</td> <td>924千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>69,161千円</td> </tr> </table>	福祉事業活動	68,236千円	人件費	44,458千円	事務費	8,769千円	事業費	12,016千円	拠点区分間繰入金	2,993千円	施設整備等	924千円	合計	69,161千円	収支差額 1,078千円
福祉事業活動	70,238千円																														
給付費	52,398千円																														
川崎市独自扶助	6,459千円																														
指定管理委託料等	0千円																														
拠点区分間繰入金	0千円																														
その他	11,381千円																														
合計	70,238千円																														
福祉事業活動	68,236千円																														
人件費	44,458千円																														
事務費	8,769千円																														
事業費	12,016千円																														
拠点区分間繰入金	2,993千円																														
施設整備等	924千円																														
合計	69,161千円																														
サービス向上の取組	・前年度は、利用者全員を対象にタイムテーブルや座席の位置、職員の動き等を分かりやすく掲示し、新しい環境で安心して過ごせるよう取り組んできたが、平成27年度は利用者個々のタイムテーブルや目標達成のためのチェック表の作成を行い、やるべき事を自力で把握できるようになった結果、気持ちと行動の一層の安定につながっている。 ・防災訓練中、不安になり動けなくなってしまう利用者について、施設と家族が連携して双方から丁寧に説明を重ね、27年度の訓練ではスムーズに行動できるようになった事例等から、個々のニーズへの適時適切な支援が実を結んでいることが見てとれ、高く評価できる。																														

### 3. 評価 (評価段階: 5→1, 標準: 3, 加点割合: 5→100%, 4→80%, 3→60%, 2→40%, 1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・利用者主体を念頭に置いた上で、個々の障害特性を反映し、自己選択・自己決定を尊重した個別支援計画に基づいて支援を行っている。支援に当たっては、事前の説明を重視するとともに、本人の潜在的な力を引き出すことに努めており、月平均87%の出勤率を維持した。 ・就労援助センターと連携して本人の希望に添った就労先を紹介し、またコミュニケーションに困難がある利用者について、就職面接の際に施設での本人の作業風景を撮影した動画を用いる等、特性を考慮した支援を行い、就労移行支援A型事業所を含めて4名が就労した。 ・館内共用トイレの清掃受注や保育園での清掃体験実習等を開始し、利用者の新たな適正を発見し就労先の幅を広げることができた。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	4	4
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) ・支出については、人件費や備品・消耗品費が当初の見込みを上回ったことにより、当初の見込みを上回って執行した。 ・収入については、利用者が当初の見込みを上回ったことによる給付費の増により、全体で見込を上回り、また、収支はプラスであった。 ・会計基準に基づいた適正な会計処理ができています。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4	
	利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
(評価の理由) ・個別支援計画は、利用者・家族をはじめ、必要に応じて区保健福祉センター・相談支援センター・更生相談所等も同席のうえ作成している。 ・特別支援学校からの体験実習に加え、離職→在宅生活となっていた利用者の実習を受け入れ、わーくすの利用開始につながったケースがあり、多様な就労希望に応えている。 ・利用者・家族との信頼関係づくりを特に重視し、連絡帳や保護者連絡会、みんなの声BOX(意見箱)、わーくす川崎通信等を活用して意思疎通の回数と手段を確保したほか、トラブル時は必要に応じて面談を行い、利用者・家族が納得しやすい環境の確保に努めている。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	3	3
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	3
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員のスキルアップについては、法人の研修方針に基づき、法人外の研修も含めて積極的に参加できる環境を整えている。また、入職時には「入職前研修」を実施している。</li> <li>・平成27年度は、新規採用の非常勤職員に対して、常勤職員が育成役となって、利用者対応や他職員との人間関係等について一緒に解決していく「メンター制度」を実施した。</li> <li>・事故の未然防止については、ヒヤリハットを法人が収集・分析し、各施設へフィードバックする仕組みとなっている。発生した事故については、区保健福祉センター・相談支援センター等、関係者に報告して情報共有している。</li> </ul>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種保守・点検、警備等については、委託により仕様書に沿って適切に実施されている。</li> <li>・日常清掃・定期清掃についても業者委託により行われており、美観と清潔さが保たれている。</li> </ul>					

#### 4. 総合評価

評価点合計	69	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準: C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満  
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・事業開始2年目として、前年度に構築した利用者・家族との信頼関係や業務の標準化等を土台として、本来の事業目的である個別支援を軸とした就労支援を実施し、4名が就労に結びついたことは高く評価できる。  
・また就労支援については、行政と連携して「川崎市障害者雇用短期チャレンジ事業」を活用し、新たな支援の形を模索する取組が継続されている。  
・各区保健福祉センターをはじめ、相談支援センターや専門機関と連携し、適切な役割分担の下、利用者の生活全般を視野に入れたサービス体制の構築に努め、利用者・家族の安心につながっている。また、川崎区地域自立支援協議会に参加し、地域の福祉施設や当事者団体とのネットワークづくりに取り組んでいる。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・平成26年度中に構築した利用者支援基盤に基づき、次年度は、それを土台としつつ満足度調査等も実施する中で、利用者個々のニーズに即したさらなるサービスの向上に取り組むこと。